実施状況調査報告書（競技強化支援事業助成金）

■活動概要

助成年度	令和７年度
助成団体	一般社団法人日本トップリーグ連携機構
助成区分	スポーツ団体トップリーグ運営助成
活動名	あそビバ！
助成金額	35,000,000 円

スポーツ団体トップリーグ運営助成で一般社団法人日本トップリーグ連携機構（JTL）が行っている「あそビバ！」の実施状況について調査を行いました。

本活動は、スポーツとの出会いの時期である幼少年期から小学校３年生の子供たちが親子で参加し、ボールを使って基本的な動作や基礎的な技能を楽しく習得できるように開発したプログラムを実施するものです。調査当日は、親子約 30 組が参加しており、講師 2 名の指導の下、バレーボールやテニスボールを使用した様々なあそびを楽しそうに行っていました。

■助成の意義

助成を受けたことによって参加料を基本無料として、継続的に実施することができているとのことです。「あそビバ！」は、元々「ボールフェスタ」というイベントの１コンテンツとして実施していましたが、本活動のみの開催要望が多く、単独で開催することになったという経緯があるそうです。単独での開催は、自主財源での実施となり、開催回数が限られてしまう恐れがあったそうですが、助成金を活用し、開催を希望する多くの地域で開催できるようになったとのことでした。

■事業効果を高めるための取り組み

本活動は、実施を希望する自治体が主体となり、活動場所の選定と管轄エリアの小学校、幼稚園、保育園に募集チラシを配布し、参加者を積極的に募集しているそうです。このような地域との協働により、JTL は、元トップアスリートを講師とする魅力あるコンテンツの提供に注力することができているとのことでした。また、スポーツ協会等を通じ、地域で活動している少年団等にも呼びかけを行っており、近隣の自治体からも開催して欲しいと要望があるなどの波及効果があるようです。参加者にはアンケートに回答頂いており、次回以降の参考にし、よりよい活動となるよう尽力されています。

■所感

昨今、ゲームや携帯電話等の電子機器の普及等により、親子でボール等を使ってあそぶ機会が減ってきている中、本活動が開催されることにより、ボールを触れる機会、中には普段触れることがない種類のボールを使って遊ぶことができ、親子にとって貴重な経験になったのではないかと思われます。また、本活動により、スポーツをする人・観る人・支える人の輪が広がって

いくように感じました。

「あそビバ！」というきっかけから、ボールに触れる機会が増え、将来この中からトップリーグ等で活躍する選手が生まれてくることがあるかもしれません。今後も「あそビバ！」を通して様々なスポーツへの挑戦のきっかけとなることを期待しています。

（令和７年 11 月 23 日往査）

（写真）あそビバ！の様子



